

学校現場における情報管理 及び「クライアントマネージメント」のご提案

富士電機 ITソリューション株式会社 事業企画室営業推進部 部長 芳賀 敬輔

hagakeisuke@fisl.jp

キーワード クライアントマネージメント、セキュリティ、情報漏洩、暗号化、USB

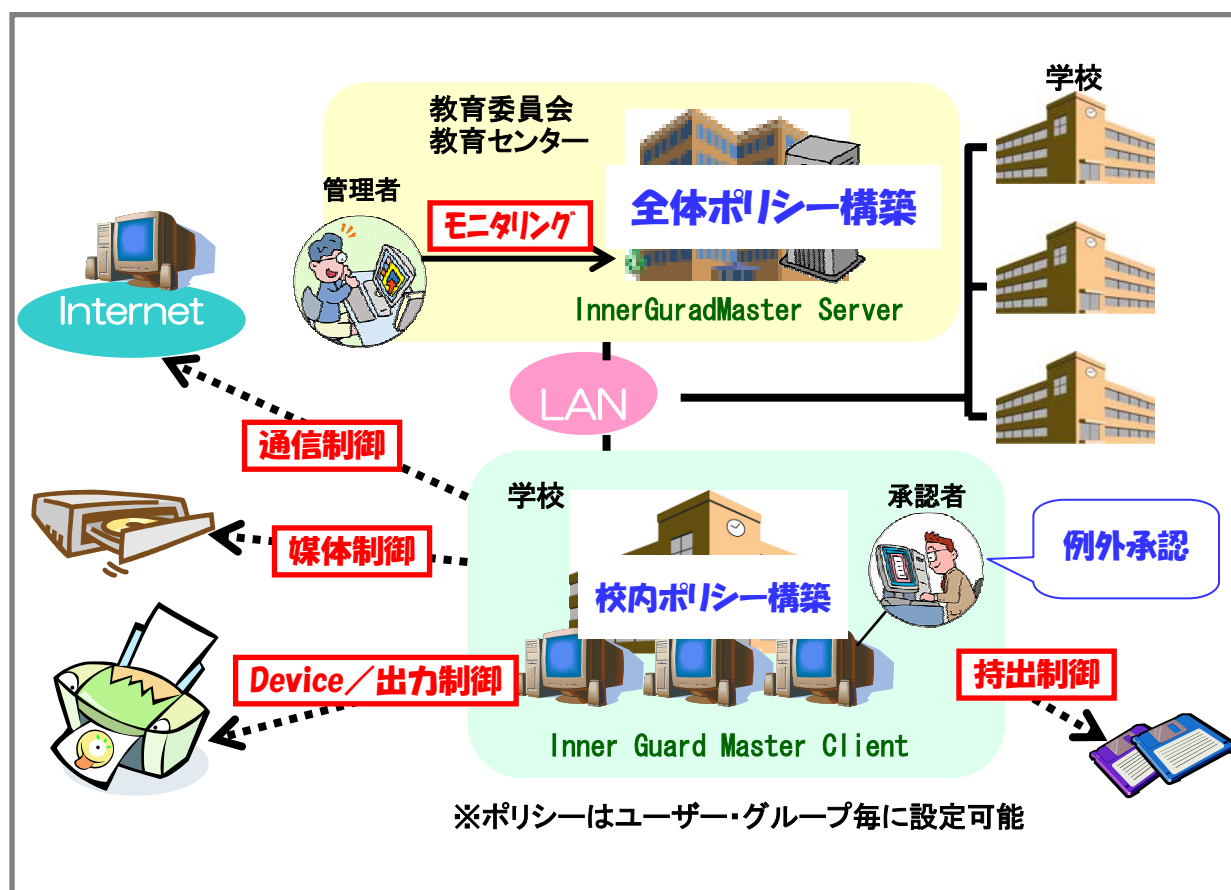
1. はじめに

教育分野での IT 化の進展に伴い、従来は不可能だった遠隔の学校との交流や、美しくわかりやすい教材、非常に時間がかかっていた大量のデータ処理、等々が簡単に実現でき大変便利になってきました。しかし危険な面も年々増加し、故意もしくは無意識にも関わらず「重要な情報（個人情報、成績情報...）」のコピーやメールでの送信、プリントアウトといったことが簡単に出来るようになり、ウィルスの脅威にもさらされるようになりました。

4 月より『個人情報保護法』が施行され、学校現場でもきめ細かな情報管理が必須になりますが、今回は学校現場における情報管理・情報漏洩防止・情報セキュリティについての考え方とその対応について、ご提案いたします。

2. 「Inner Guard Master」による情報セキュリティのご提案

(1) Inner Guard Master 機能概要



故意及び無意識に起こる
情報漏洩を未然に防止

(2) Inner Guard Master は、校内の身近な問題にも対応！

□出所不明のプログラムをインストールされてしまう

- よく分からないけど、学校の PC に入れてみたら学校中の PC がウイルス感染してしまった

Inner Guard Master → 許可された人のみ、外部デバイス利用可

□好き放題なプリンタ出力

- 無駄紙が多くて困る。インク代の負担も大きい

Inner Guard Master → 許可された人のみ、プリンタ出力可

(3) Inner Guard Master は、管理者の負担も軽減します

□教育委員会から来る矢の催促！ 確認が大変！

- ・「セキュリティパッチはあててありますか？」
- ・「ウイルス対策ソフトはきちんと動作していますか？」

Inner Guard Master →セキュリティパッチの状況確認ができます

□データの無断持ち出し

Inner Guard Master →管理者の許可を得てからデータ書出し

3. 「CRYPTY U」による、持ち出した情報の漏洩防止

本来は校外に持ち出すのは？ですが、どうしても持ち出したい場合は... → 暗号化

(1) 「CRYPTY U」とは？

～ファイル暗号化アプリ内蔵 USB メモリ～



(2) 「CRYPTY U」基本機能

- ファイル／フォルダの暗号化機能
- ファイル／フォルダの暗号化・圧縮機能
- 自己復号 exe ファイルの作成機能
- ファイル完全削除機能

(3) 「CRYPTY U」の特徴

- インストール不要で接続後すぐ使用可能
- USB メモリへのファイル暗号化保存
- 個人情報漏えい賠償責任保険つき

4. まとめ

情報漏洩対策は『個人情報保護法』施行を待たずに、迅速かつ的確に講じなければなりません。事が起きたら取り返しがつきませんし、信用は失墜し、企業であれば存亡にも関わるからです。

Inner Guard Master は、学校現場の情報漏洩防止、校内の PC 管理負担を軽減します。また、校外へのデータ持ち出しの際には、CRYPTY U（ファイル暗号化アプリ内蔵 USB メモリ）を使い、データ暗号化しておけば、万一紛失や盗難の時も安心です。